

## 第 17回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成18年11月 7日(火)

午後1時30分～3時15分

場所：清浄園 2階 会議室

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

第16回委員会の会議録について

### 4 議題

(1) 総合的な評価に基づく候補地絞り込み結果について・・・・・・(資料1)

(2) 3候補地周辺住民からの意見情報収集について・・・・・・(資料2)

(3) 提言書(案)の検討について・・・・・・(資料3)

### 5 その他

次回委員会について 11月22日(水) 午後1時30分から  
清浄園 2階 会議室

### 6 閉 会

出席委員（14人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
表 秀孝	委員
藤原 信一	委員
下村 聖	委員
大井 一郎	委員
柳澤 旨賢	委員
山本 哲	委員

欠席委員（1人）

木口 憲爾	委員
-------	----

出席者 事務局（10人）

上田市役所	廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所	市民課	課長	堀口 雅人
上田市役所	丸子地域自治センター		
	市民生活課	課長	堀内 親夫
上田市役所	真田地域自治センター		
	市民生活課	課長	清水 忠
上田市役所	武石地域自治センター		
	建設環境課	課長	櫻井 直道
青木村役場	住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場	町民課	課長	丸山 敏和
上田地域広域連合事務局		事務局長	三好 健三
上田地域広域連合事務局		ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局		ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（1人）

国際航業株式会社	技術本部	環境統括部	
	環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（ 1 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

第 1 6 回会議録の確認について

（委員長）

事前に送付されているが、修正等はよろしいか。

（各委員）

特に変更等の意見なし。

4 議題

（ 1 ）総合的な評価に基づく候補地絞り込み結果について

（事務局）

資料 1 （ 1 ）総合的な評価に基づく候補地絞り込み結果について資料 1 に基づいて説明する。

（ 2 ） 3 候補地周辺住民からの意見情報収集について

資料 2 （ 2 ） 3 候補地周辺住民からの意見情報収集について資料 2 に基づいて説明する。

（委員長）

事務局から報告してもらったように、前回の委員会で 3 箇所に絞り込みをした候補地周辺住民の皆さんにそれぞれの候補地の情報を収集してもらったが、さらに候補地を絞り込みしたほうが良いのかどうか議論したい。

上田クリーンセンター周辺については、厳しい御意見がかなり多く出されている。地理情報システムでも確認しているが、土地の形が扁平というか幅が狭い状況があるので、緩衝帯を設置することを考えると、住宅や企業の建物も含めて協力してもらわなければならない。

残念なことではあるが、過去の行政に対する強い不信感がある。どういう経過であったかよく分からないが、現在の上田クリーンセンターを受け入れた条件として約束したことが守られなかった。今までに施設稼動状況の報告がなかったことは不可解であるが、これまでもこの委員会で議論してきたが、これから建設される施設については、地域住民の皆さんと一緒に施設運営や安全であるかどうか監視することが、安心と信頼感を深めていくシステムを考えて欲しいというのがこの委員会の意見である。地域にとって受け入れにくい施設をお願いする時の過去の経過については、御破算にして将来に向かって本当に良い施設にしていかなければならない。

御意見があればお願いしたい。

(委員)

上田クリーンセンター周辺以外の候補地については、あまり反対意見がないように感じるが、自治会役員の中で厳しい御意見はなかったのか。今後は地域住民全員から御意見をいただくのか。また、どこで御意見をいただいているのか。

(事務局)

時間的に地域住民全員まで含めた広い範囲の御意見はまだいただけていません。反対の御意見があるのは事実であり、冷静に受け止めていただいているという状況ではありますが、決して賛成であると言っているわけではないので、色々な御意見をいただいているという状況です。自治会の役員さんは地域住民の皆さんの御意見を聞きながら考えていきたいということだと思います。

事務局が候補地周辺の自治会へ出向いて、事務局から御報告をさせていただき、自治会役員の皆さんから御意見をいただいております。

(委員)

上田クリーンセンター周辺の役員さんからの御意見については、過去の経過を考慮せずに地理情報システムに基づいて候補地を3箇所までに絞り込んできたが、客観的に見ても周辺に住宅地が迫ってきて、過去のクリーンセンターの建設経過を考慮すると候補地から除外としたらどうか。

また、東山自然運動公園隣接山林と川西地区泉池造成地及び隣接山林の2箇所の候補地を提言したらどうかと考える。その後は、行政の判断により最終候補地を決定してもらいたい。

(委員)

過去に上田クリーンセンター周辺の産業廃棄物業者に問題があったが、今までにクリーンセンターの所長などが出向いて、地域に色々説明してきた経過もあると思う。上田クリーンセンター周辺は、住宅などの移転に多額の費用がかかると思われるので候補地から除外とすることは賛成である。

(委員)

上田クリーンセンター周辺の御意見が厳しいことは理解できるし、4ha確保して緩衝帯を設置することは難しい場所であると考えます。

この委員会は1箇所の候補地に絞り込むべきであると考えます。これから地域住民の皆さんから御意見をいただく時に色々な条件を出す場合があると思うが、それは行政で判断するべきで、この委員会は、どの場所が建設候補地として適地であるか判断しながら、1箇所に絞り込むことが大事であると考えます。東山自然運動公園隣接山林が適地であると考え、地理的に収集運搬効率などを考えると上田地域広域連合圏域の中心であるので、1箇所に絞り込んで提言したほうが良いと考えます。その後、行政が施設建設できるように努力してもらいたい。

(委員)

候補地を1箇所とするか、複数箇所を提言とするかまだ確実な判断はできないが、上田クリーンセンターについては、周辺の敷地に余裕があるわけではないので、もう少し広い土地が確保できる場所に施設を建設しなければならないと思う。

東山自然運動公園隣接山林については、造成してアクセス道路を整備することは十分考えられ、隣接して住宅がないので、問題は少ないと感じられる。施設建設後は、地域還元施設として余熱利用を市民などが活用できる場所として考えなければならない。

川西地区泉池造成地及び隣接山林については、候補地周辺を含めた川西地区に厚生連の総合病院を誘致したいとしているが、左岸地域住民を対象とした病院を誘致する署名が3万人程度集まっているので、施設建設ができるかどうか不安がある。4ha確保するとなると山林部分を開発しなければならないし、国道へのアクセス道路も整備しなければならない。

どの候補地を適地にするかは最終的に行政の判断であると思うが、上田クリーンセンター周辺については、提言する候補地としての理由が説明しにくい場所であると感じる。

無理に1箇所の候補地にしないで、よく議論したうえで提言する候補地を検討したほうが良いと考える。

(委員)

候補地を選定するのはこの委員会であって、最終的に判断するのは広域連合長であると思うので、3候補地ごとに色々な問題はあると考えるが、選択肢があったほうが良いと考える。

(委員)

ごみ1t焼却するのに水が1t必要になると記述されているが、ある施設を視察した時は3tから5t必要になると説明を受けたがどう違うのか。

(事務局)

前回の委員会であった施設整備検討委員会でメーカーアンケートを実施しましたが、最新の施設でごみ1tに対して水が1tまで絞り込むことが出来るようになった。確かに少し前の施設では、いくらか多めの水が必要であるという施設もあると思います。

(委員)

水の関係については、関心がある人も多いが、地下水調査などを実施して地下水の利用が見込めないため、適地ではないということでは困るので、事前に調査しておく必要があるのではないか。

上田クリーンセンター周辺については、候補地として厳しいのではないかと感じるが、廃棄物関連施設の候補地選定においては、地域住民から反対の意見が多いから候補地から除外するという印象を受けることがあるので、委員会として十分に議論する必要があるのではないかと。前回の委員会で候補地を3箇所に絞り込みを行い、豊殿産業団地が除外されたが、反対があったから除外されたのではないかとこの御意見も聞いているので、十分に委員会として候補地選定の議論を掘り下げて欲しい。

(委員長)

今までのこの委員会議論を振り返ってもらいたいが、地域から反対意見があったから候補地から除外したという決定はしていないので確認しておきたい。

掘り下げた議論をするというのは、そのとおりであると思うが、委員会として第17回まで議論を重ねてきた内容であって、決して表面的な問題だけで議論してきたのではなく、内容も含めて議論を深めながら候補地を選定してきたので、御理解いただきたい。

(委員)

誤解があったかもしれないが、水の関係については重要であると思うので、議論を深める必要があるのではないかという意見であるので、この委員会として今までの候補地選定の議論を深めてきたので、候補地選定の提言に向けた議論が重要であると思う。

(事務局)

水の関係については、重要な事項であり、地下水の利用は考えていますが、利用できないから候補地として適地ではないとは考えていません。この委員会として候補地を選定する判断材料として地下水調査を実施することは、時間的制約と調査費用など含めて非常に厳しいと思います。今後、建設予定地に実施する環境影響評価の調査項目として考えていきたいので、御理解をいただきたいと思います。

(委員長)

水の関係については、どういう施設を建設するか、どういうシステムを取り込んでいくかによって、かなり大きく違ってくると考える。施設の内容に関しては、前の委員会である資源循環型施設整備検討委員会において基本的な内容について議論していただいている。

水に関しては、資料2にある3候補地周辺住民からの質疑にも記述されているが、水に関しては施設内で循環するシステムを構築し、施設周辺へは排水をしないことを考えるとかなり水の節約が期待できるのではないかと考える。確かに水の問題は重要な事項であることには変わりはないと考えているので、環境影響評価の中で調査していただくということをお願いしたい。

(委員)

候補地を1箇所とするか、候補地を複数とするか意見が分かれているが、複数の候補地を提言して正副広域連合長に判断をしてもらえば良いと考える。候補地が決定して施設が建設された後に色々な問題が出てきた場合は、広域連合で適切に対応してもらいたい。

(委員)

3候補地周辺住民からの御意見については、確かにそうであると思われる御意見であり、事務局の回答も適切であったと考える。候補地周辺住民の合意が大前提であり、合意がなければ施設建設はできないと考える。複数の候補地を提言し、今後の進め方としてより多くの住民に施設の理解を深めて地域の合意が得られるようお願いしたい。

(委員長)

地域合意については、提言書(案)の検討のところで議論したいが、実現に向けて非常に重要なところである。

(委員)

4ページに「公害防止協定書などを締結」とあるが、広域連合として条例などにより締結するのか。

(事務局)

排ガスの規制値などの環境省の基準はありますが、地域住民の皆さんと一緒に施設を運営していく視点での協定ということになると思いますので、数値基準などは当然入る項目であります。地域住民と施設を運営していく項目が重要であると考えています。数値基準だけ守りますという協定では不十分であるのではないかと思います。

(委員長)

色々な議論をいただきましたが、上田クリーンセンター周辺については、4haの確保が厳しく、十分な緩衝帯の設置も難しいので、前回の委員会で除外とした清浄園隣接農地と地形的な条件に近い状況であるので、候補地から除外したいと考えるがどうか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

上田クリーンセンター周辺が候補地から除外されたので、東山自然運動公園隣接山林と川西地区泉池造成地及び隣接山林の2箇所の候補地をどうするか御意見はどうか。

次のところで議論するが、提言書の付帯意見として地域住民との合意形成に向けた努力とあるが、候補地を1箇所として提言すると地域住民としては決定と同じではないかと考えると思うので、候補地決定の過程に地域住民の皆さんが参加することで最終判断をしていくことを残すことも大事であるのではないかと考える。

1箇所の候補地を提言するとなると良いか悪いかだけになってしまい、非常に危険であると感じるがどうか。

(委員)

委員長の御意見は理解できるが、10候補地を評価した項目の中で総運搬距離についてはこの委員会で重み付けして評価したが、東山自然運動公園隣接山林については“ A ”であり、川西地区泉池造成地及び隣接山林については“ B ”であるので、東山自然運動公園隣接山林について提言したらどうかと考える。

(委員長)

総運搬距離については、この委員会で重要視してきた項目なので、御指摘いただいたことは重要なことであるが、2箇所の候補地を提言して、その後、最終的に判断するところで尊重してもらうこともできるのではないかと思います。

この委員会としては、東山自然運動公園隣接山林と川西地区泉池造成地及び隣接山林の2箇所を候補地として提言したいと考えるがどうか。

(各委員)

異議なし。

(3) 提言書(案)の検討について

(事務局)

資料3 (3) 提言書(案)の検討について資料3に基づいて説明する。

(委員長)

提言書の内容として、提言する候補地については、先ほど2箇所の候補地を提言することに決定した内容、候補地選定の考え方については、今までに候補地を選定してきた内容についてまとめたいと思う。

候補地選定の流れと候補地選定経過図等については、今までにこの委員会で行ってきた内容である。

付帯意見については、今までの委員会での御意見を総合して委員長の立場でまとめさせていただき、5項目について意見を述べているが、追加しなければならないことなども含めて御意見をお願いしたい。

全体の提言書については、事前に事務局から提言書を送付してもらい、次回委員会で議論したいと考えている。

(委員)

付帯意見の資源循環、省エネルギー、環境保全への配慮のところで、ごみの減量化の記述にインパクトがない感じがするが、施設規模を150t/日とし、施設稼働までにさらに20%の減量化を図る必要があると思うし、候補地周辺住民の御理解いただく条件になると思われる。

また、余熱利用や地域還元施設などは新たな項目を設定したほうが良いのではないかと。

(委員長)

ごみの減量化の取り組みについては、行政だけでできることではないので、住民も一緒になって参加しないと実現できない目標であるので、表現の中で積極的に位置づけたほうが、よりインパクトがある内容となるのではないかと思います。実現できないと施設規模が150t/日を超えてしまうので、今ある3クリーンセンターのどれかを残さなければならないようなことであると、今までに上田広域連合が計画する統合ごみ処理施設にはならないので、上田地域広域連合圏域内の住民の皆さんのごみの減量化の取り組みにかかっている。

地域還元施設と余熱利用については、新たな項目を設定したほうが良いと考える。

(委員)

東山自然運動公園隣接山林には、マダラヤンマとオオタカの巣があると聞いたと記述されているが、候補地周辺も含めて自然保護しなければならない動植物がいることについては、詳細な調査をしてもらいたいと考える。

施設建設後の運営に関する地域との連携については、過去の行政に対する不信感みたいなようなことがないようにお願いしたい。

(委員長)

自然保護については、積極的に推進して自然回復も含めて里山づくりをしていかななくてはいけない。周辺の自然環境づくりについては、地域と一緒に進めるべきであると考え。

ほかに御意見はどうか。

(各委員)

特になし。

(委員長)

今までに御意見としていただいた内容を事務局は修正してもらいたい。

次回委員会では、提言書の最終的なチェックをしたいと考えている。

## 5 その他

次回委員会について

11月22日(水) 午後1時30分から 清浄園 2階 会議室

(事務局)

今回の委員会の日程について事前にお送りいただきました日程調整表を参考にして日程を決めさせていただきました。全員の委員さんが御出席できる日の設定が困難でありますので、出来るだけ御出席できる日として、11月22日の水曜日、午後1時30分から清浄園2階会議室で行いたいのので、よろしくお願ひしたいと思います。

本日、付帯意見について御意見いただきましたが、委員長と相談させていただき、次回の委員会で提言書をまとめたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員会の開催通知は改めて送付させていただき、広域連合長への提言書の提出についてもあわせて開催通知にお知らせしたいと思います。

(委員長)

他に御意見はどうか。

本日はこれで終了としたい。

## 6 閉会

(事務局)

閉会(3時10分)